

第 8 回 中国圏広域地方計画協議会 議事要旨

■日時:令和 7 年 9 月 24 日(水) 14:00～

■場所:ホテルメルパルク広島 6 階 瑞雲

議題

- 1) 中国圏広域地方計画協議会 規約の改正について
- 2) 新たな中国圏広域地方計画 中間とりまとめ(案)について
- 3) 中四国連携施策について
- 4) その他

1. 開会

事務局(鎌田推進室長)

只今から第 8 回中国圏広域地方計画協議会を開催する。

本日は、構成員 40 名のうち代理出席を含めて 31 名にご出席いただいている。2 分の 1 以上の出席となるので、中国圏広域地方計画協議会規約第 5 条第 3 項により、本日の会議が成立していることを報告する。

会議の開催に先立ち、中国圏広域地方計画協議会会長よりご挨拶をお願いしたい。

2. 挨拶

芦谷会長

本日この会場にお集まりの皆様、WEB でご出席の皆様には大変お忙しい中をご出席賜り、また、平素から当協議会の諸活動に対して格別のご理解、ご支援を賜っていることに対し、この場をおかりして御礼を申し上げる。

中国圏の現状だが、人口減少対策やカーボンニュートラル、激甚化・頻発化する自然災害への対応など、多くの課題に直面している。これらの課題を我々としては逆に伸び代として捉え、中国圏としてしっかりと発展していく道筋を示さなければならない時期に差しかかっているのではないかと感じている。新たな中国圏広域地方計画については、昨年 12 月に書面審議を経て、中間とりまとめの素案を示させていただいた。その中では、「活躍人口の創出、地域資源が持つ力を最大限発揮し、あらゆるつながりを再構築・強化することで、持続的に成長させる」、これを計画の理念として掲げた。

中国圏は、中国山地が比較的なだらかであることによって、広島市、岡山市のような大都市はもちろん、中国山地や日本海側、あるいは瀬戸内海側に人口数万人規模の都市が広く点在している状況にある。これを分散型の地域構造としているが、これは全国が計画を目指す「人口や諸機能が分散的に配置される国土構造」を実現するポテンシャルを持っているものと捉えている。中国圏が将来にわたり持続的に発展していくためには、点在する都市がそれぞれの持つ個性豊かな地域資源を活かし、有機的につながり合えることが必要だと考えている。

そのためにも、協議会の皆様のお力添えをいただきながら、地域の特性を見詰め直し、しっかりと知恵を絞って新しい中国圏の成長戦略をつくるつもりで計画を策定している。

本日は限られた時間ではあるが、忌憚のない幅広いご意見をいただくことをお願いし、開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

3. 議題

1) 中国圏広域地方計画協議会 規約の改正について

事務局より資料説明（資料 1）

（質問・意見なし、規約改定を承認）

2) 新たな中国圏広域地方計画 中間とりまとめ(案)について

3) 中四国連携施策について

事務局より資料説明（資料 2～6）

芦谷会長

事務局から議題 2)「新たな中国圏広域地方計画 中間とりまとめ（案）について」と議題 3)「中四国連携施策について」について説明をいただいた。これより皆様からご意見をいただく。WEB の皆様もご発言がある場合は挙手いただきたい。

北川政策局長(岡山市長 代理)

今回、コラムを追加していただいたことで、各地域の取り組みが大変わかりやすくなった。コラムを拝読すると、岡山県に関する取り組みがほぼないことが気になってしまう。可能であれば、1 つ程度岡山県に関するコラムをとりまとめていただきたい。

芦谷会長

北川政策局長、ありがとうございました。中国地方整備局、中国運輸局からご意見をいただきたい。

杉中局長(中国地方整備局)

本日ご議論いただいている広域地方計画は、中国圏のさまざまな課題に対応するということで、今後の将来像を明確にし、将来像の実現に向けた戦略を示すものである。現在は中間とりまとめ（案）だが、全国計画をベースにしながらも、特に中国地域の特徴的な 4 層構造の地域生活圏や、その原動力である活躍人口の創出といった、中国圏独自の要素が盛り込まれている。

このような将来像を実現させるためには、本日お集まりいただいた皆様、また、WEB でご参加の皆様全員で広域地方計画という 1 つのビジョンを共有し、一丸となって取り組みを進めていくことが非常に重要と考える。今後、年度末の大臣決定に向けて、引き続き皆様のご協力いただきたい。

芦谷会長

続いて中国運輸局の金子局長からご意見をいただきたい。

金子局長(中国運輸局)

中国運輸局が広域地方計画策定において果たす役割としては、交通空白解消などの地域公共交通の確保・維持、あるいは昨今の物流 2024 年問題、持続可能な観光、地方誘客促進、それにまたがって全てに共通する課題としては担い手不足の解消だと思う。担い手不足の解消に向けて我々のほうもしっかり取り組みを進めていく。

芦谷会長

推進室からご意見があればお願いしたい。

事務局(鎌田推進室長)

先ほど岡山市からコラムについて意見をいただいたが、資料 3 の 50 ページに、岡山工業高校のインフラメンテナンスに関する取り組みをコラムとして今回追加している。

芦谷会長

本日の議論を踏まえ、後日公表を予定している中間とりまとめ(案)を今後整えていければと思っている。本日いただいたご意見も踏まえて修正を加えていきたいが、修正については私に一任いただきたい。

(異議なし)

4) その他

事務局より資料説明(資料 7)

(質問・意見なし)

4. 閉会

事務局(鎌田推進室長)

今後、市町村からの計画提案、学識者等会議等を経て、来年には第 9 回中国圏広域地方計画協議会を開催し、計画原案のとりまとめを行う予定である。皆様には引き続きご協力いただきたい。

これをもって第 8 回中国圏広域地方計画協議会を終了する。

以上